

会 議 録 (要旨)

会 議 名	第 3 0 回瑞穂町行政評価委員会
開 催 日 時	令和 8 年 8 月 6 日 (木) 午前 1 0 時から午前 1 1 時 5 0 分まで
開 催 場 所	瑞穂町役場 庁舎 2 階 会議室 2 - 1、2 - 2
出 席 者 及 び 欠 席 者	(行政評価委員) 出席者：池田委員長、木村副委員長、関谷委員、中村委員、橋爪委員、吉川委員 欠席者：石川委員、上坂委員、根岸委員 説明員：清水子育て応援課長、栗原子子育て支援係長、榎本保育・幼稚園係長、宮澤児童館係長、和田保育・幼稚園係主査、島崎子ども家庭センター課長、片野母子保健係長、青木福祉課長、上出福祉推進係長、池谷障がい者支援係長、大澤学校教育課長、田中社会教育課長、加藤スポーツ推進係長、森田住民課長、石川住民係長、川端国保年金係長、工藤高齢者福祉課長、鈴木介護支援係長、田野デジタル推進課長、村山デジタル推進係長、岩田広報広聴係長、奥泉総務課長、臼井総務係長、臼井職員係長、伊丹文書法制係長、早津財政課長、池田財政係長、山田契約係長、加村地域協働係長、友野会計課長 事務局：渡辺企画政策課長、福島企画推進係長、山下
配 布 資 料	<u>事前配付資料 (施策分野評価シート 及び 関連事務事業評価シート)</u> ① 基本目標 2 施策分野 1 子育てしやすい環境 ② 基本目標 2 施策分野 2 保育・幼児教育の充実 ③ 基本目標 2 施策分野 3 支援が必要な子どもと家庭への支援 ④ 基本目標 1 施策分野 1 健康づくり・スポーツ ⑤ 基本目標 1 施策分野 3 社会保険制度 ⑥ 基本目標 7 施策分野 1 協働の推進 ⑦ 基本目標 7 施策分野 3 効果的・効率的な行財政運営 <u>当日配付資料</u> ・ 次第 ・ 委員からの事前質問一覧 ・ 施策分野外部評価経過
議 題	1 開 会 2 議 題 (1) 令和 7 年度施策分野評価シートの外部評価について ① 基本目標 2 施策分野 1 子育てしやすい環境 ② 基本目標 2 施策分野 2 保育・幼児教育の充実 ③ 基本目標 2 施策分野 3 支援が必要な子どもと家庭への支援 ④ 基本目標 1 施策分野 1 健康づくり・スポーツ ⑤ 基本目標 1 施策分野 3 社会保険制度 ⑥ 基本目標 7 施策分野 1 協働の推進 ⑦ 基本目標 7 施策分野 3 効果的・効率的な行財政運営

	3 その他
傍 聴 者	4 名
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載。同一内容は一つにまとめ た。)	1 開会 池田委員長から会議公開についての説明が行われ、会議が進められた。 渡辺企画政策課長より事前配布資料、当日配付資料の説明が行われた。 2 議題 (1) 令和7年度施策分野評価シートの外部評価について ①【基本目標2 施策分野1 子育てしやすい環境】 ※清水子育て応援課長、島崎子ども家庭センター課長から、施策分野についての説明が行われた。 ○事前質問及び説明員の回答 (根岸委員) ・出産・子育て応援事業にて、住民との協働事業として外国語遠隔通訳業務が含まれるが、日本語を解さない利用者はどの程度いるか。 (島崎子ども家庭センター課長) ・子ども家庭センター課では、外国人の妊産婦や子育て家庭の相談支援に関わることも少なくない。日常会話はできても、込み入った話では通じないことも多く、そのような時に外国語遠隔通訳を利用している。 令和7年度の通訳利用者は実人数で12人(妊婦9人及び乳幼児の保護者3人)、延べ53回の利用だった。利用言語は、ベトナム語、タガログ語、英語、スペイン語、ネパール語などである。なお、令和7年度に妊娠届出をした外国人は14人のため、外国人妊婦における通訳利用者の割合は、約64.3%である。 ○質問及び意見、説明員の回答 (関谷委員) ・あすなろ児童館のイベントを開催していて良いことと思う。多くの地域の子たちが集まると思うが、一番参加が多いのは一小の子になるか。他の地域の子供たちも同様に過ごせるような工夫があると良い。 (清水子育て応援課長) ・石畑地域の一小の子どもたち、続いて五小の子どもたち、瑞穂中学校の生徒になる。
基本目標2 施策分野1	

②【基本目標 2 施策分野 2 保育・幼児教育の充実】

※清水子育て応援課長から、施策分野についての説明が行われた。

○事前質問及び説明員の回答

(根岸委員)

- ・保育料の助成事業について、施策名に待機児童の解消と明記されているが、直近の町内の待機児童の増減はどのような状況か。また、学童保育クラブ運営事業における待機児童の現在の状況は。

(清水子育て応援課長)

- ・保育所等における令和 8 年 4 月 1 日時点での待機児童は 0 人、令和 8 年 7 月 1 日時点では 2 人（0 歳児 1 人、1 歳児 1 人）である。

学童保育クラブについては、令和 8 年 4 月 1 日時点で 11 人（二小小学童 9 人、西松原学童 2 人）の待機児童が発生したため、長岡南会館においてランドセル来館事業を実施した。（うち、7 人が利用）

※西松原学童については、同一学区である四小小学童には空きがあり、四小小学童への入所をご案内したが、西松原学童に空きが出るまで待機するという利用者の意向があった。

○質問及び意見、説明員の回答

(池田委員長)

- ・学童保育クラブ運営事業について、小学校から移動するのに時間がかかるところは何箇所あるか。

(清水子育て応援課長)

- ・二小小学童（青梅街道を渡っている）約 1 km、四小（むさしの保育園）1 km 弱。西松原学童は 5 分程度。

(池田委員長)

- ・今までに事故はあるか。安全管理はどのように行っているか。

(清水子育て応援課長)

- ・毎年、学校教育課、安全・安心課、建設課、子育て応援課で通学路の点検を行っている。危険箇所はないか、安全性を図れるように対策を行っている。学童保育クラブについても、通学路以外は通らないように指導して、安全確保を行っている。学童保育クラブにこないということで学校に連絡することはあるが、交通事故の報告はない。

(池田委員長)

- ・学童に行くまでにおいて学校側での配慮はあるか。また学童保育クラブに行くまでのルートで事故は起きているか。

(大澤学校教育課長)

- ・安全指導を各学校で行っており、学年に応じた指導をしている。学童へ

基本目標 2 施策分野 3	行く際も注意するように案内している。下校時の事故はあるが、学童保育クラブに行く道での事故事例の報告はない。 (池田委員長) ・ 保育園運営業務について、石畑、むさしの両保育園は公設民営の指定管理を行っているが、他の保育園との差はあるか、立ち入り調査を行っているか。 (清水子育て応援課長) ・ 公立と私立の運営法人の特色もあるため違いはあるが、待機児童や障害のある子どもの弾力的受入れを公立の園にはお願いしている。立ち入り調査においては、保育コンシェルジュという保育士などの資格を持っている会計年度任用職員が同行し、施設設備や午睡の状況確認、保育士が適正に配置できているかを確認している。 ③【基本目標 2 施策分野 3 支援が必要な子どもと家庭への支援】 ※清水子育て応援課長から、施策分野についての説明が行われた。 ○質問及び意見、説明員の回答 (木村委員) ・ 「ひとり親家庭に準ずる」とはどういった状態を指すか。祖父母であってもひとり親家庭に該当するか。 (清水子育て応援課長) ・ 養育家庭のことを指す。祖父母であっても該当する。 (橋爪委員) ・ おひさまキッチンの参加者団体、提供はどのくらいあるか。告知や周知を町からもしてほしい。支援の輪を広げてほしい。 (青木福祉課長) ・ 物だけでなく金銭の提供もある。夏場は牧場のジェラートを提供してもらっている。また、福生市に本拠を置く社会奉仕団体からホットプレートや炊飯器、お米等を頂いている。他にも、ソーセージや農園からみかん等様々なものを頂いている。金融機関からフルーツを頂いた際に地元紙に取り上げてもらい、地元紙を見た方から支援の声が上がっている。 (中村委員) ・ 提案になるが、町内で山菜まつりや夕涼み会を行っている。子どもたちが経験できる場や地域のつながりの強化として町側から補助等してもらえると、開催側も多くの人に声をかけやすいのでお願いしたい。 (10 分間の休憩。説明員の入替えを行った。)
--------------------------	--

基本目標 1
施策分野 1

④【基本目標 1 施策分野 1 健康づくり・スポーツ】

※田中社会教育課長から、施策分野についての説明が行われた。

○事前質問及び説明員の回答

(根岸委員)

- ・健康ポイント事業にインセンティブの工夫とあるが、どのようなインセンティブがあるか。

(健康課)

- ・令和 7 年度は、毎月、健康ポイントを 1,000 ポイント貯めた方に、抽選で 1,000 円分の瑞穂ブランド商品券や耕心館サロンコンサートの割引券、デジタルギフトを付与しました。また、今後の取り組みとして、町が実施する健康ポイント事業「みずほ健康ポイントあるってこ」と、東京都が区市町村で実施している健康ポイント事業と連携して行う「東京健康 Up l us (とうきょう健康応援事業)」との連携を開始します。この事業は、期間内に健康ポイント (6,000 ポイント) を貯めた方が東京都の特典 (協賛店で使える優待カードや東京都アプリで利用できるポイントが取得できる) を受けることができるものです。(後日書面)

○質問及び意見、説明員の回答

(池田委員長)

- ・体育事業の充実としてウォーキングを年 3 回行っているが、回数を増やしてほしい。パターンが固定化しているため、新しいイベントや内容の変化を行ってほしい。また、もう少し距離を伸ばした健脚向けの事業を行ってほしい。

(田中社会教育課長)

- ・新春歩こう会、残堀川ふれあいウォーキング、みずほウォーキングを行っている。その他、みずほエコパークで年 4 回、2 キロ程度歩く、森林健幸ウォーキングを行っている。こちらは初心者の方に歩き方を教えるものになる。スポーツ推進協議会でも協議を行っており、次年度に向けて新しいウォーキングイベントをできないか検討している。

基本目標 1
施策分野 3

⑤【基本目標 1 施策分野 3 社会保険制度】

※森田住民課長から、施策分野についての説明が行われた。

○質問及び意見、説明員の回答

(橋爪委員)

- ・マイナ保険の切り替え率を知りたい。

(森田住民課長)

- ・国民健康保険被保険者数の 6659 人の内、登録者が 4725 人で被保険者 71.4%、利用率は 56%

後期高齢者医療保険被保険者数の5531人の内、登録者が4272人で77.24%、利用率58.67%

(中村委員)

- ・体が思うように動かない状態で、通院していて、医療保険の保険料が高いと思っている。車も運転していない。要望であるがこういった状態の人が、コミュニティバス、デマンド交通の利用をしやすいようにしてほしい。

(池田委員長)

- ・介護保険の認定・給付事務について、65歳の節目に介護保険証が届けられるがその中に制度の説明がないため、仕組みが良く分からない。節目の時に説明をしてほしい。

(工藤高齢者福祉課長)

- ・65歳になるタイミングでの交付から、要介護認定を受けるときに交付する形に今後変更される見込み。その場合、65歳になった際の知らせが無くなるため、普及啓発も必要であると考えている。国からの通知や西多摩地域近隣市町村の状況も見ながら検討していきたい。また、40歳から介護保険料を負担しているので、そちらに対しても周知が必要なのではないかと考える。

(池田委員長)

- ・10期の介護保険事業計画に係る専門分科会を傍聴したが、委員の内公募は1名のようなのである。介護保険の当事者は町民であり、本人が申請することなく、家族の理解も必要と考える。公募委員の人数が1名では少ないのではないかと。また、40歳からの保険料の支払いが始まっている。その年代の委員も公募してはどうか。

(工藤高齢者福祉課長)

- ・計画策定の会議、介護保険運営協議会、地域包括支援センター運営協議会の3つの会議を所管している。その運営方法については町側でも検討している。委員の人数や選出母体について第11期計画に向けて会議の在り方の見直しを検討している。

(中村委員)

- ・介護保険の制度について、施設に入っている方で、自宅の雑草が生い茂っている家がある。個人の所有であるため町からの支援もない。このような問題について、町は状況を把握しているか。

(工藤高齢者福祉課長)

- ・全国の自治体で起きている事象である。現状の課題としては身寄りのある方よりも身寄りのない方の支援について議題が国からも上がっている。町にも数件連絡が入っている状態である。こちらの問題は複合的な課題を抱えており、町側も高齢者支援センターも苦慮している状態である。中村委員のように心配している方の力も借りながら、支援していきたい。

基本目標 7 施策分野 1	(中村委員) ・防犯の意味でも近隣住民は困っているので、どうかしてもらいたい。 (池田委員長) ・こちらの回答については、答弁以外の回答するものがあれば後日書面にて回答する形としたい。 (高齢者福祉課) ・近隣住民の皆様のご心配から対応をいただいていることに感謝申し上げます。身寄りのある方であれば親族にご連絡を取り、現状をお伝えし、対応をお願いすることも可能ですが、そうではない場合には行政としても対応に非常に苦慮している現状です。個人の財産権も関わる問題であるため、ご本人の意思決定にも配慮することも必要であります。一方で、近隣の皆様の生活とのバランスが必要との認識は持っております。(後日書面) ⑥【基本目標 7 施策分野 1 協働の推進】 ※田野デジタル推進課長から、施策分野についての説明が行われた。 ○質問及び意見、説明員の回答 (木村委員) ・町長の手紙で回答を希望していない方の質問に関しての対応方法は。 (田野デジタル推進課長) ・担当課に周知を行っている。質問内容が理解できないものもあるため、連絡の取れるものに関しては連絡をとり、担当課に情報共有するようにしている。 (中村委員) ・投票率の低さについて、町の具体的な啓発活動について教えてほしい。 (奥泉総務課長) ・投票率の低さについては、去年の投票率も都内でも一番低い状態となっている。選挙啓発活動として町のイベントで呼びかけを行っている。また、期日前投票として庁舎、箱根ヶ崎駅、武蔵野コミュニティセンターと3か所設けていて、都内の近隣自治体より多く投票所を設けて投票しやすいよう環境を整えている。現状若者の投票率が低いため、令和6年度から小学校で出前授業という形で授業を行い、未来の有権者である子どもたちに模擬投票で選挙を体験してもらう活動をしている。 (渡辺企画政策課長) ・町長タウンミーティングでも同様の意見を受けたが、国と東京都の選挙に関しては、投票率が低い、町長選挙と町議会議員選挙に関しての投票率は都内で中盤の率となっている。様々な手段を講じて、選挙啓発に努めたい。
--------------------------	--

基本目標 7 施策分野 3	(中村委員) ・町内会ごとの投票率の掲載をし、有権者に刺激を与える方法をとる形式もよいのではないか。 (奥泉総務課長) ・町ホームページや広報紙で第 1 投票区から第 9 投票区までの投票率を掲載している。町として今後も工夫していく。 (池田委員長) ・町長タウンミーティングについて参加者で発言を希望する人に応えられるよう、時間配分に配慮してもらいたい。 (吉川委員) ・若い世代の投票率について、施策の対象を一定の年代だけでなく、広く全体を対象とすることも必要と考える。広報の仕方が難しいが、町だけの問題ではなく、都や国全体を巻き込んで考えていかないといけない話ではないかと考えている。 ⑦【基本目標 7 施策分野 3 効果的・効率的な行財政運営】 ※渡辺企画政策課長、田野デジタル推進課長、奥泉総務課長から、施策分野についての説明が行われた。 ○事前質問及び説明員の回答 (根岸委員) ・窓口業務事業について、マイナンバーカードの平日夜間、土曜日曜の交付に対応があり、大変有難く感じている。他方で、その日時の予約が大変混んでおり、中々予約が取りにくいことを経験した。増員により対応できれば願いたい。 (森田住民課長) ・マイナンバーカードの受け取り予約については、現在平日夜間及び土日開庁を実施しているほか、オンライン予約と電話予約を併用している状況。オンライン予約の導入により利便性の向上が図られているものと考えている。現在、平日の夜間や土日の開庁時の予約枠については、令和 7 年度のピーク時よりも混雑が緩和され、予約が取りやすい状況となっている。今後のカード申請状況を踏まえて、スムーズな予約体制及び交付体制について検討していきたい。 ○質問及び意見、説明員の回答 (中村委員長) ・役場通りの無電柱化は何のために行っているか。 (建設課) ・主に以下の 3 つの目的（効果）のために行っています。1. 都市防災機
---	--

能の強化（防災対策） 地震などの災害時に電柱が倒壊して道路が塞がれるのを防ぎ、避難や救助活動を行う「緊急輸送道路」としての機能を確保するため。2. 安全で快適な歩行空間の確保 歩道上の電柱をなくし、歩行者（車いすやベビーカー利用者を含む）が安全に通行できるようにするため。3. 良好な都市景観の創出 電線や電柱をなくし、美しく魅力ある街並みを形成するため。※瑞穂町では「第5次瑞穂町長期総合計画」や「瑞穂町道路整備方針」において、国や東京都の方針（上記3つの目的）と連携し、防災対策に重点を置いた無電柱化を推進しています。（後日書面）

（吉川委員）

- ・窓口業務事業について、数年前に総務省から日本行政書士会連合会に対してマイナンバーカードの申請サポートについて依頼があった。今は行っていないが、今後の運用方法は。

（森田住民課長）

- ・現状会計年度任用職員5人で対応している。状況により適宜対応したい。

（木村委員）

- ・窓口業務の短縮が話題となっているが瑞穂町でも行うのか。

（渡辺企画政策課長）

- ・窓口の時間短縮については、6月の議会でも議員から一般質問を受けている。働き方改革とDX推進において、今年改定中の行政改革推進プランに時間短縮の検討を位置付けた。今後検討していきたい。

（池田委員長）

- ・機能的な組織・人事管理について、人を採用するときに、ジョブ型ではなくメンバーシップ型となっていると思うが、後期高齢者の医療給付費遅延があったと聞いている。人事管理の中で職員の適性をどのように管理しているか。職務が広く浅くだとそれが向かない人もある。事務の遅滞・住民への影響がないよう人事管理が重要である。

（奥泉総務課長）

- ・ジョブ型の採用となっていない。つまり、原則としてスペシャリストというよりジェネラリストの育成を町では行っている。町の人事考課制度に基づき、担当職務への適性が見られないと判断されるような場合には人事管理上、ジョブローテーションを行っていく必要があると考える。

（議題の質疑について、全て終了。説明員が退室）

（2）その他

（渡辺企画政策課長）

- ・長丁場にわたり評価を行ったが、無事に行政評価委員会を終えることが

できた。協力に感謝する。前期計画の３５の施策分野の外部評価を終えることができた。後期基本計画が令和８年度からスタートし、外部評価の在り方について委員長からも提言を頂いている状態である。令和８年度が終了後の評価方法について、再度行政評価委員会を開催し委員の皆さんと議論したいと考えている。任期内に招集したいと考えているので承知願いたい。

閉会 午前１１時５０分